



「旧騎兵第三旅団被覆練兵場」というのは、青山町に三棟だけ残っている、赤レンガづくりの建物です。青山小学校と青山児童館にはさまれている一棟は、最近まで菓子工場として使用されていましたが、会社が昨年撤退。取り壊しになる可能性が生まれてきました。

青山二丁目の赤レンガを市民のための施設に

「旧騎兵第三旅団被覆練兵場」

この練兵場は、明治四十二年建築という歴史性に加え、中に一本も柱がない構造であることなど、大変珍しく貴重なものです。また一時期、住居や小学校講堂としても利用され、昔から青山町に住んでいらした方々には、様々な思い出をお持ちの方もいらっしゃると思います。いわば、青山町の歴史を見てきた建物なのです。盛岡市でも「市民のために

「旧騎兵隊第三旅団被覆練兵場を考えるつどい」

日時 二月二十日(金) 午後六時三十分

場所 青山二丁目地区公民館

(盛岡市青山二一十五一三十二 電話六四七〇九三七)

入場無料

建築家であり、「あの角を曲がれば」の著者、伊山治 男さんにお話をいただきます。



盛岡市議会議員

いせ志穂 (市民会議)

事務所 盛岡市青山3-29-4

電話・FAX 645-8510

自宅 盛岡市前九年1-9-26

電話646-5396 FAX646-6524

http://www.nnet.ne.jp/~ise/ E-mail:ise@nnet.ne.jp

市民による「必要な事業としない事業」の選別を

年末に谷藤市長は「盛岡市 財政赤字の総額は約二百五億 円に達する可能性がある」と 予測し、来年度から三年間に、 事務事業費十五%カット、 公共事業費三十%削減、 七十人の職員削減、 外郭団体の見直し などの改革を行う考えです。 私は今まで「盛岡市の財政

市民フォーラム

「もりおかはどうなるの?その1

―盛岡市行財政改革について―

日時 二月一七日(火) 午後六時半

場所 プラザおでつて 大会議室

入場 無料

主催 議会改革フォーラム

(盛岡市議吉田久孝・藤川智美・伊勢志穂)

は家計に例えれば給料が目減りしているのにローンの返済が増えているようなものだ」と改善を要望してきましたので、今回の市長の提案は「一歩前進」だと思っています。 今後は、必要なもの・要らないものについて、市民の要望を聞き、予算にメリハリをつけていくことが課題だと思います。 皆さんのご意見をお聞かせください。 私の所属する会派「議会改革フォーラム」で、意見を聞く会を開催します。ぜひ、ご参加ください。また、以前と同様、事務所へのご連絡もお待ちしております。

お手伝いください

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せてください。ポスティングなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。



カンパのお願い

議員歳費の多くを活動につぎ込んできましたが、やるべき事が増える一方、議員歳費を減額。それにともない赤字が続いています。このご時世大変心苦しいお願いですが、カンパもよろしくお願ひします。



イラクへの自衛隊派遣に反対 盛岡市議会

決議を可決

昨年十二月議会において「自衛隊のイラク派遣に反対する決議」が、賛成十九反対十八という僅差で可決しました。朝日新聞によれば十二月十六日までに六十一の市議会で同様の決議が上がっています。

このまま自衛隊派遣を続けて良いのでしょうか？

空爆で三人の子どもを失ったアリ・サクバンさん



ナセル市場の爆撃で負傷した子。撮影広河隆一さん

三つ目の病院でシハードちゃんも亡くなりました。

「脳が飛び出しているんだ。

子どもを助けてくれ」と叫ぶアリさんの姿を思い出すと、ただ悲しく、やるせない気持ちになります。

人々の命を脅かすのは空爆だけではありません。

九一年の湾岸戦争から米軍は、天然ウランの濃縮処理過程で派生する廃棄物を弾頭に使用した砲弾「劣化ウラン弾」を使用しています。

盛岡市で開かれた綿井健陽さんの講演会において、米軍が行なった大規模な空爆により三人の子どもを亡くしたアリのビデオを見ました。爆弾の破片を頭に受けた次女シハードちゃんを病院に運ぼうにも米軍の装甲車が道路を封鎖。やっとたどり着いた

綿井さんのビデオでも「この十年間に白血病や甲状腺ガンに罹患する人は十五〜二十%も増加している」とイラク人医師が話していました。今もたくさん罪のない人たちが、米軍が始めた戦争の犠牲になっています。

戦争の口実にしかすぎなかった「大量破壊兵器」

「イラクには生物・化学兵器の大量の備蓄はなかった」と判断し、大量破壊兵器の調査を行っていた米国調査団の団長が辞任しました。

ブッシュ大統領は「イラクは大量破壊兵器を保持しており、危険だから攻撃をする」危険な考え方です。

テント一張り、NGOが運べば一万五千元 自衛隊が運べば五十六万円！

あるNGOが民間企業や現地の人たちを雇って、イラク難民のためのテント百二十二張り、百八十万円の費用でイラクに運び入れました。自衛隊は百六十張りのテントを運ぶのに一億円かけ、おまけに運んだテントがヨルダンで滞っているとのこと。

「戦争に行くのではない。武力によらない貢献を

戦後約六十年間、自衛隊が他国民を殺害したことはありません。戦火の続くアラブ諸国の市民に親日家が多いのは日本が「決して殺さない国だから」ではないでしょうか。日本がやるべきことは、米

らと思われれます。

フランスやドイツに見られるように、米国は国際的に孤立しつつあります。財政状況がこれだけ悪化し、回復の可能性が少ない米国政府に対して、大量の資金投入を続けているのは日本と中国だけ。

戦費をかけ続ける米国を買い支えるのに、一体いくら必要なのでしょうか？米

国の赤字解消のためには、戦争をやめることが一番です。

しかし小泉首相は米国との「運命共同体」の道を選びました。米軍物資の輸送なども協力すべく自衛隊をイラクに派遣したのです。

今年度、米国の財政赤字は五千二百億ドル（約五十五兆円）に達する見通しです。ブッシュ大統領は五年間で赤字を半減させる目標ですが、来年度の国防予算は7%増の四千七億ドル（約四十二兆円）と破格の扱い。赤字解消は難しいでしょう。

なぜ日本は自衛隊を派遣するのか？ 米国と日本のお金の上での結びつき

破綻寸前の米国財政を買い支えているのが日本です。

日本政府も九百兆円近い借金を抱えています。財政危機を理由に、国民に負担を強いているのにも関わらず、昨年日本が行なった円売り・ドル買いの総額

債を大量に買っています。政府が公表していないため、日本が総額でいくらの米国債を所有しているか解りませんが、少なくとも七十兆円、へたをすれば数百兆円の公的資金が日本から米国に流れてい

るのです。このドルで政府は米国の国債を大量に買っています。政府が公表していないため、日本が総額でいくらの米国債を所有しているか解りませんが、少なくとも七十兆円、へたをすれば数百兆円の公的資金が日本から米国に流れてい



昨年12月21日、盛岡市で行なわれたピースウォーク

小泉首相はまやかしを語っています。必要なのは自衛隊という軍隊ではありません。「平和に暮らしたい」という願いはイラクの人たちも私たちも同じはず。多くの市民を犠牲にして、一握りの人たちが肥え太らせる戦争に日本が加担してはなりません。米軍支援の自衛隊派遣ではなく平和的な解決策を日本が提案するように、皆さんも声をあげてください。